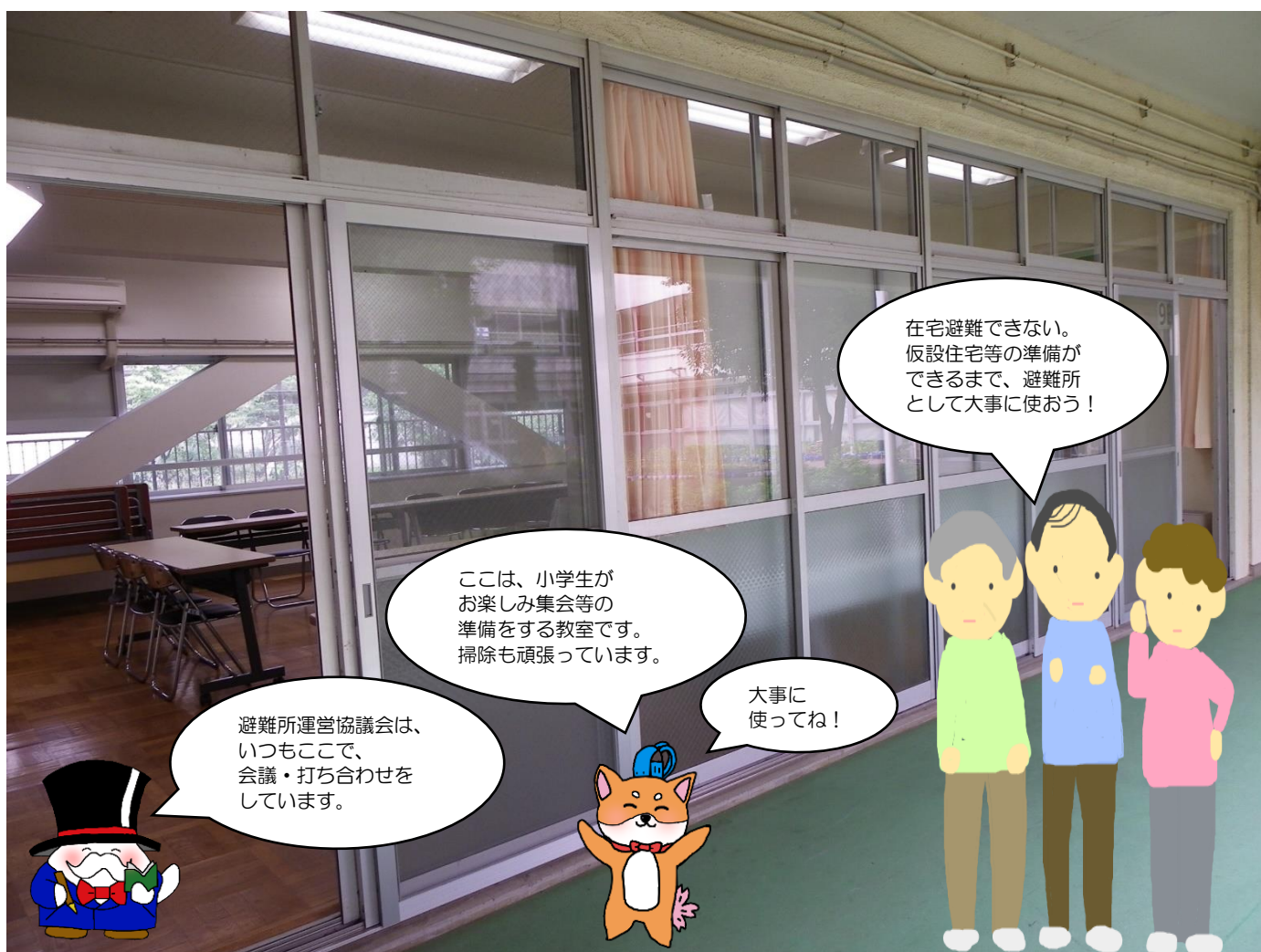


災害時、谷戸第二小学校 に避難する方へ

～感染対策版～

避難所のご案内 4



谷戸第二小学校では、大規模災害発生時の避難所として、まず体育館と北校舎1階多目的室を開放します。多目的室は、体温37.5度以上（体調不良）の避難者を対象にした避難所（第2ブロック）で、避難者ひとりひとりが、体調管理と感染防止に気をつけながら、一時的に共同生活をする場所です。

「避難」とは「難」を「避」けること。
自分にあった避難を考えよう！



自分にとって・・・
何が「難」で
何が「安全」なんだろう？

災害時に感染症が流行している場合の

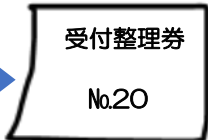
多目的室避難の流れ

① 校庭で回収係に利用届提出→受付整理券受け取り
(役割分担：利用届回収係等)

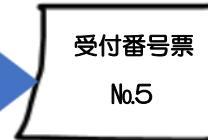
見本	谷戸第二小学校避難広場(校庭)利用届		※回収係に提出
	避難者氏名(ふりがな)	体温	利用目的<該当項目に☑>
	やと だいじ 谷戸 第二 〇〇〇〇年〇月〇日受付	自己 測定値 37.6度	検温係 測定値 37.7度
			<input type="checkbox"/> 避難広場(校庭)利用のみ (在宅避難可能) <input checked="" type="checkbox"/> 避難所入所希望 (在宅避難不可能)



検温終了!
37.5度以上
利用届記入!!



受付開始までは、校庭待機。
整理券の番号順に受付。



多目的室の被災状況確認後に受付開設の可否を判断

② 受付整理券提出→受付番号票と避難者カード受け取り

発熱者の家族(37.5度未満)はどうしたらいいの?

発熱者は、専用スペースから出てはいけないの?

感染症罹患者だけど、特に症状がない。無症状でも、発熱者と一緒にされるの?

避難してくる前から発熱症状がある場合は?

避難してくる前は、感染症で自宅療養していた。症状が急変したらどうしたらいいの?

建物の被災状況によっては、使えないスペースもあり。まずは、感染防止を第一に、その都度検討。

まずは、医師の診断内容や自覚症状等をわかりやすく記録し、いつでも検討できる体制作り。
※感染症患者は、平時から、もしものときの避難方法について確認しておく。発災前、被災前の情報収集が、とにかく大事。



中庭を通り抜けて、多目的室前受付（第2ブロック受付）へ。

筆記用具持参



③ 多目的室入室

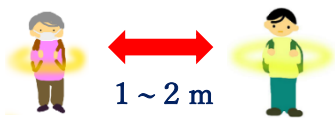
自分の靴は靴袋に入れ、
持って入室

④ 避難者カード記入→提出（役割分担：カード回収係等）

試案（現在作成中）

見本	①	世帯代表者氏名		避難前の住所				
		入所年月日	20 年 月 日					
②	家族	ふりがな 氏名	年齢	性別	災害時要援護事項 (病気・母国語等)	電話		
						所属自治会・町内会名		
	避難者のみ	家屋の被害状況						
		親族等の連絡先 (任意)					住所 氏名 世帯主との関係 電話	
備考								
③	安否確認のための情報開示（世帯別の氏名及び住所）					登録	*	
	同意する		同意しない					
④	退出年月日 20 年 月 日					退所	*	
	転出先	住所					在宅	*
		氏名						
	電話							

⑤ 多目的室待機



見本



余震も心配だし・・・
何人避難してくるかわからないから、
すぐに荷ほどきはできない。
しばらく様子を見よう！

受付番号票 No.1

現在の体調

発熱 _____ 度

せき

のどの痛み

鼻水

悪寒

体の痛み

感染症 ()

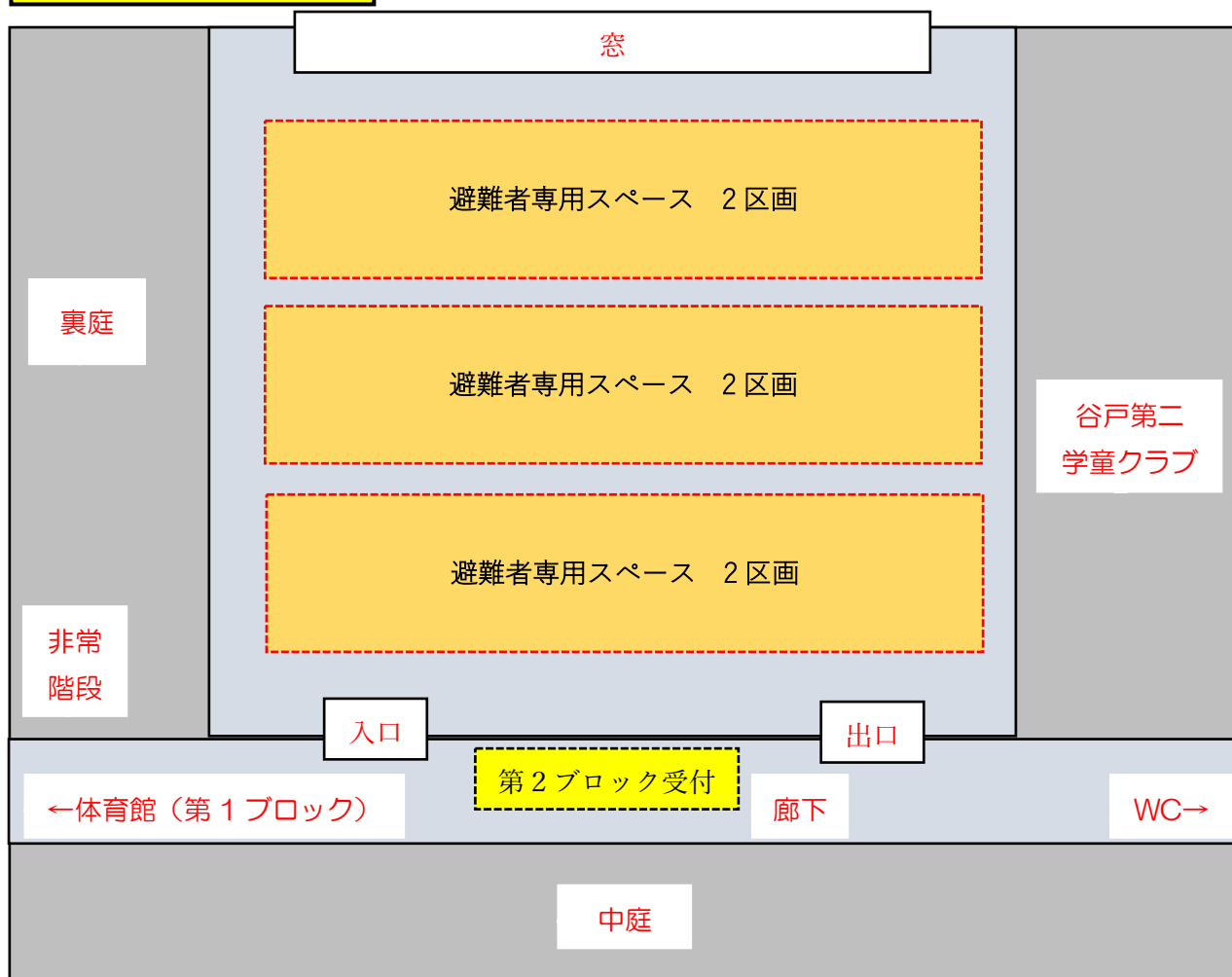
その他連絡事項

氏名 (ふりがな)

共同生活のはじめ

自助・共助・公助ってなんだろう？ ～多目的室編～

多目的室利用計画



発災時、最初の**公助**は、避難場所の提供



避難所開設作業は**自助**・**共助**



△ 避難所の専用スペースは、1区画 2m×2m程度。

△ 専用スペースの振り分けは、本部が決定。